



## 今週のグラフ: 生産性ペナルティ ワールドカップの勝者と敗者

IMFBlog

2018年7月2日



ブラジルはサンパウロのサッカーファン。ロシアで開催中のワールドカップに出場したブラジルチームの試合を観戦している  
(写真: Fotoarena/Newscom)

ワールドカップと生産性という私たちのお気に入りの話題 2 つを 1 つのグラフにまとめてみた。生産性、つまり、労働時間 1 時間あたりの生産量がワールドカップ期間中にどれほどの打撃をうけるかは、どこに住んでいるかに左右される。

下のグラフは [Statista](#) がまとめたものだが、タイム・ゾーンによって測定されるワールドカップからの距離によって、職場での生産性に対して生じうる影響が左右されることを示している。

「アジアの大半とオーストラリアの時間では試合開始が夜なので、部下を持つ人々は心配しないで良いでしょうが、ブラジルではこれから数週間従業員を大目に見る必要があるでしょう。時差の関係でワールドカップの試合が 60 時間以上、リオデジャネイロの通常の勤務時間帯と重なってしまうからです」とロンドンに拠点を置くデータ・ジャーナリストでグラフの数値を計算したフェリックス・リクターは述べている。

## ワールドカップが生産性を脅かす国

### ランキング ⚽

FIFAワールドカップの試合時間が  
主な都市で通常の勤務時間帯とどれほど重なるか



出所: Statista Research

注: 勤務時間帯は月曜から金曜の午前9時から午後6時と仮定した。

決勝トーナメントで生じうる延長戦の時間は考慮していない。

2018 statista



広義での生産性、つまり勤務時間中に平均 1 時間でどれほどの価値が新たに経済に生み出されたかという問題について IMF では多くの時間を割いて考察している。IMF は近年、とりわけ世界経済危機以降について、生産性に何が起こったかの膨大なデータを持ち、数えきれないほどの分析を行ってきた。

試合から目を離すことができたら、ぜひ IMF による生産性についての考察にも目を通して頂ければと思う。

[貿易障壁を下げるが世界の生産性と成長を活性化させる理由\(How Lowering Trade Barriers Can Revive Global Productivity and Growth\)](#)

[成長のためのデザイン — 税制と生産性 \(Designed for Growth: Taxation and Productivity\)](#)

[生産性、技術、人口動態 \(Productivity, Technology, and Demographics\)](#)

[今週のグラフ: 低下する生産性 — 重要な理由と対策 \(Chart of the Week: Slowing Productivity: Why It Matters and What To Do\)](#)

[抜け出せない轍 \(Stuck in a Rut\)](#)

[高齢化するヨーロッパと日本で生産性が伸び悩む理由\(Why Productivity Growth is Flatering in Aging Europe and Japan\)](#)

[低迷する生産性 — 金融要因と金融政策が果たす役割 \(Weak Productivity: The Role of Financial Factors and Policies\)](#)